

ジェネリック医薬品の品質等に係る文献調査結果について

平成 29 年 2 月 14 日
日本ジェネリック製薬協会

「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」（平成 25 年 4 月 5 日、厚生労働省）に基づき、当協会の信頼性向上プロジェクト文献調査チームにおいて実施しましたジェネリック医薬品の品質、臨床関係等の文献調査結果について、下記のとおり報告いたします。

1. 文献検索の条件

- データベース：JAPIC 医薬品情報データベース
- 検索文献：平成 28 年 4 月～28 年 9 月の間に JAPIC 医薬品情報データベースに収載された国内の関連文献及び学会報告（査読の有無にかかわらず、すべて収集した。）

○ 検索条件：

(1) 品質関係

（「“ジェネリック医薬品”と同義のキーワード」と「“ジェネリックの品質評価”に関係するキーワード」のどちらも含む文献）

実際の検索式：（ジェネリック or 同種医薬品 or 後発）and （品質 or 溶出 or 同等性 or 生物学的利用率 or 崩壊 or 純度 or 溶解性 or 製剤 or 物理化学的 or 配合）or 球形吸着炭

(2) 臨床（安全性・有効性）関係

（「“ジェネリック医薬品”と同義のキーワード」と「“臨床的な評価”“安全性”と同義のキーワード」のどちらも含む文献）

実際の検索式：（ジェネリック or 同種医薬品 or 後発）and （有効性 or 有用性 or 臨床 or 結果 or 再現性 or 医薬品評価 or 安全性 or 副作用）or 球形吸着炭

2. 検索した文献の採用条件

上記の検索結果より、「ジェネリック医薬品の品質評価、臨床評価についての文献等」という目的から外れる以下の内容の文献については除外した。

- ① ジェネリック医薬品全般についての総論・総説
- ② ジェネリック医薬品についてのアンケート調査をまとめた文献

3. 採用文献等の内訳

採用した論文及び学会報告の数は全部で 46 報あり、問題を指摘する論文、学会報告は 20 件（全体の 43%）であった。内訳はそれぞれ以下のとおりであった。

		論文	学会報告	合計
問題指摘文献	品質関係	4	3	7
	臨床（安全性・有効性）関係	5	8	13
問題なし文献	品質関係	2	0	2
	臨床（安全性・有効性）関係	17	3	20
味覚・使用感関係		1	3	4
合 計		29	17	46

4. 調査の方法

ジェネリック医薬品の品質、安全性、有効性に関する問題点を指摘する文献に対して、該当する製剤の製造販売業者の見解を求めた。

また、詳細が不明な文献については著者等に照会を行い、詳細なデータの提供等を依頼した。

5. 調査結果

別紙「文献調査結果のまとめ」のとおりであった。

以上